

APNet ニュースレター

—Advanced Power Network—

Vol.136 (2020年9月号)

発行
次世代電力ネットワーク研究会

IAE 一般財団法人 エネルギー総合工学研究所

<今月の注目点>

- ・海外ニュースは、最初に益々悪質化するサイバー攻撃への電力会社の対応について 2 件紹介します。続いて造船分野のストレージの情報、ドローン検査会社の業務拡大、ダムに浮かぶ太陽光プラント、二次バッテリーシステムと太陽光・EV 充電器組み合わせの紹介です。太陽光発電普及に関わる世界 16 トップの動向では中国、米国に次いで日本が 3 位となっています。
- ・国内ニュースは、総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会傘下の合同石炭火力ワーキンググループ及び我国で始まった容量市場の考察をご報告します。

1	海外ニュース	- 1 -
1.1	電力会社へのランサムウェア攻撃がより高度化、ハニーポット作戦で判明	- 1 -
1.2	Enel へのサイバー攻撃でトップダウンのセキュリティカルチャーの価値際立つ	- 1 -
1.3	Wärtsilä、大容量のガスエンジン・バッテリーストレージ発電所設置へ	- 2 -
1.4	ドローン検査会社が再エネ向けに事業拡張のため \$750 万を調達	- 3 -
1.5	Statkraft が水力発電所ダムでの浮体式太陽光プラントに着工	- 4 -
1.6	英国 Suffolk で二次利用バッテリーシステムと太陽光+EV 充電器とを組合せ	- 5 -
1.7	太陽光発電普及において世界で最も重要なトップ 16 のマーケット	- 6 -
1.8	日本が途上国向けの石炭火力ファイナンスを止めると誓約	- 7 -
2	国内ニュース	- 9 -
2.1	今月の電力システムの制度改革の動向 Watching	- 9 -
2.2	いよいよ始まった容量市場	- 9 -
3	事務局後記：スマートグリッド EXPO	- 12 -